

輝け☆沖盲の宝



62名の幼児・児童・生徒
一人ひとりの輝きで
キラリ☆沖縄盲学校



『5月1日は学校のお誕生日(創立記念日)、97周年を祝いました』

梅雨入りしましたが、天気のよい日が続いております。創立記念日には私が30年前に勤務していた頃の沖縄盲学校のお話をしました。その当時の児童生徒もお勉強や行事に一生懸命取り組んでいた思い出や司会の咲さんがリードしてお誕

【↑学校の創立記念】生日の歌をみんなで合唱しました。2021年には100周年を迎えます。9月頃には期成会が発足し、記念事業の取組を始めますので、ご協力お願いします。20日(日)は登校日でした。「沖盲デー」と称し授業参観、PTA総会、教育講演会(あねらほうすの取組)、学部PTA懇談会、PTA作業と多くの保護者や兄弟姉妹も来校し、賑やかな一日となりました。ご参加ありがとうございました。PTA総会では新PTA会長に平安山さんが承認されました。平良前会長のご尽力に感謝すると共に今年度もご協力お願い致します。

4月末に春の遠足がありました。全幼児児童生徒と一緒に行事をもつことによ



【↑PTA総会と教育講演会↓】



り親睦を深め、集団活動を通して健康安全や決まりを守るなど生活経験を広げることを目的としています。遠足は本校の伝統行事であり、全体レクでは〇×ゲームやジャンケンゲーム等、幼小学部の子供たちは大好きな先輩達とふれあいながら楽しみ、児童生徒会の企画力や役割分担、進行などもとても素晴らし

【↑ジャンケンゲームは小学部同士の真剣勝負↑〇×ゲームは中学部の優勝↑あいさつも上手でした】く、頼もしい活動です。

NEWS ☆☆☆☆☆ NEWS ☆☆☆☆☆ NEWS ☆☆☆☆☆ NEWS ☆☆☆☆☆

新入生小学部1年の奥平愛司(おくひらあいじ)さんが、琉球新報主催の母の日図画作文コンクール作文の部で特賞を受賞しました。この賞は各学年一人の最高賞です。先日、愛司さんはお母さん、担任の米須先生と共に表彰式に参加し、堂々と大きな賞状と盾をいただきました。愛司さんのお母さんが大好きという思いやお母さんの優しさや愛情がいっぱい詰まった素敵な作文です。今回の校長通信は、その作文紹介と野菜の収穫や学習の様子、先生方の研修、職員の紹介等を掲載します。また、本校の自慢でもあり学校の特色の一つでもある寄宿舎の様子を「楽しい寄宿舎」のコーナーを設けると共に、点訳サークルや地域の方々、高校生など、ボランティア活動なども掲載します。本校の学校教育を各方面から支えていただいております。幼児児童生徒もふれあいや交流を楽しみにして、学びや刺激、活力にもなっています。情報発信として学年、給食、図書、保健、支援部、自立活動、寄宿舎、進路等のお便りもご覧ください。



小1あいじさん「母の日図画作文コンクール(琉球新報主催)」特賞(←表彰式) (受賞と誕生日のW祝い→)

「おかあさん だいすき」(一部、略して掲載)
ぼくのおかあさんはやさしいです。しおたまごをつくってくれます。そつえんしきをがんばったから、みずいろのぼすをかってくれました。「おかあさん、ありがとう。おかあさんのところ、ずっとはなれない。」おかあさんは「あいじ、ありがとう。まえにおしりのおにぎょうもきれいにしてくれてありがとう。」きのうのよる、おかあさんがはくのをみました。しんぱいでなきたくなりました。かずこせんせいとおはなししていたらちよつとげんきになりました。とうほうしんきをおどつてげんきをわけてあげたいです。おかあさんに「ぎゅっして」「すきすきして」というとぎゅっとききめてくれます。うれしくてげんきになって、がんばろうというきもちになります。



特別支援学校の学習は、幼稚園や小中高等学校の教育に準じて行っています。しかし、障害の特性や多様な実態、発達段階に合わせて教育を再編成して、きめ細かな学習を行っています。本校でも「遊び」（幼小学部）、「日常生活指導・自立活動」（全学部）、「生活単元学習」（小中高等部）、「作業学習」（中高等部）の学習が個別や集団学習で行われています。その中でも興味関心のある教材教具を工夫した体験型の学習は意欲を高め、自信が付き、主体的な活動へとつながります。まさに生きる力や社会自立・参加を育てる学習となります。中学部では玉ねぎを育て収穫し、学校給食に利用したり、理科学習や進路学習でも体験型学習が行われています。



↑作業学習で玉ねぎの収穫
栄養教諭のさつき先生に
贈呈し、甘みをますため
しばらくねかせたら、さら
に美味しくなりました。



↑校内放送で玉ねぎ
入ったメニューを
聞いて嬉しそうです。
←5月8日人参炒め
に玉ねぎが入ってます。

【中学部】

中学部1年→
理科の授業で
植物の観察を
一生懸命に行
っています。



進路学習会→
北谷高校3年
先輩の山内さんか
ら入試や高校生
活の話聞きま
した。



寄宿舎では舎友会という学校の児童生徒会と同じような役割があり、舎友会選挙が行われました。見事、高等部1年伊藤千夏さんが当選しました。新入舎生も優しい先輩や先生方から教えてもらい寄宿舎生活にも慣れて、自分でできることもいっぱい増えてくるので嬉しいです。

【楽しい寄宿舎】



↑舎友会総会で当選した千夏さ
に当選証が授与されました。
1年間がんばってください。



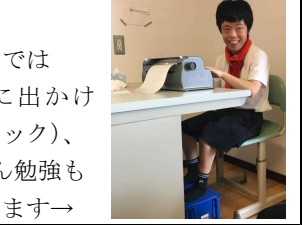
↑余暇活動では、
自転車遊びも楽しいよ。



←舎食
の準備
やシーツを
たたんだ
りしま
す→



←余暇活動では
学校周辺に出かけ
たり（マック）、
もちろん勉強も
頑張っています→



幼児児童生徒の可能性を引き出し、活躍の場を広げる要素の一つに教職員の意欲や情熱、工夫、研究などがあげられ、主体的な計画運営実践は幼児児童生徒の成長、さらには教職員の新たな発見になっています。



(↑徳永先生、猪平先生↓)

月1回の視機能相談では、照屋邦子先生（照屋眼科）が来校し、校内外の相談を長年にわたり行っていただいています。また、点訳ボランティア「ふみの会」の皆さんが毎週水曜日にお越し（↑視機能相談、ふみの会↓）いただき、絵本や本等にタグペーパーで点訳作業を行っています。おかげで図書室には多くの点訳された本があり、図書教育の一端を担っています。徳永桂子先生（思春期保健相談士）の性教育研修や猪平眞理先生（宮城教育大学名誉教授）の早期教育研修等、幼児児童生徒の指導支援のための教職員の学びが行われています。明日、プール開きが行われ、大好きなプール学習も始まります。健康管理や諸準備のご協力をお願いします。(ALT ペトワ先生です→)



(↑視機能相談、ふみの会↓)

